

おあしす上井草小規模多機能ホーム



外観

特別養護老人ホーム「上井草園」と併設する形で運営されている小規模多機能ホーム。閑静な杉並区の住宅街にあり、地域密着型サービスで、地域の安心を支える拠点となっている。



共同生活室

まるで家庭にいるようにリラックスできる、温もりのある共同生活室。中庭につながる開放的な空間で、床にはメンテナンスしやすい無垢のフローリングが使用されている。

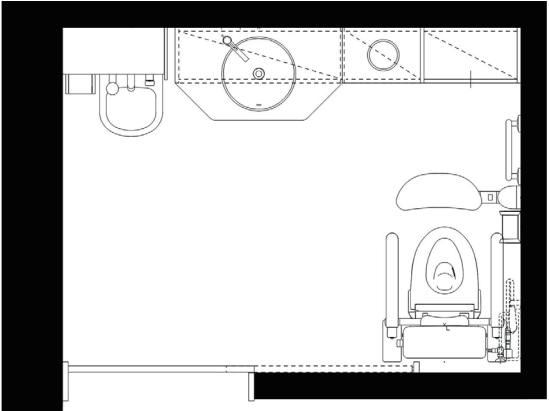


中庭

季節を感じさせる植栽があしらわれた中庭は、小鳥が卵を産みにくるなどの微笑ましい光景や、季節の移ろいを感じられることができる。

オストメイト対応トイレ図面

便器への移乗時に身体を回転させる角度が小さく済むように、後方からアプローチできる設計となっている。



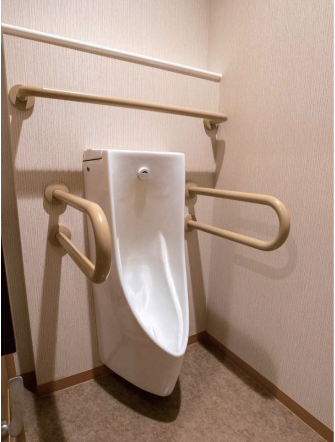
共用トイレ

便器への移乗時に身体を回転させる角度が小さく済むように後方からアプローチするレイアウト。便器への移乗や排泄姿勢の保持をサポートするスイングタイプの前方ボードやトイレ用手すりを完備している。



オストメイト対応トイレ

コンパクトオストメイトバックを設置したトイレも用意。大便器は掃除口付のパブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式に、電池交換などが不要のエコリモンを搭載したウォシュレット アプリコットPを採用。



男性用トイレ



小便器には2種類の手すりを設置。さらに、壁掛型の自動洗浄小便器を採用し、床まわりの清掃性に配慮している。対面に配置された手洗器には、非接触で使用できる自動水栓を設置。



宿泊室

6つある宿泊室のひとつ。家庭的な落ち着きを重視して、壁材や床材にはなるべく自然素材を使用。夜間の照明も、調光機能付きのLEDで、住宅用の温かみのある色を採用している。



バルコニー

宿泊室の避難経路を確保し、法規制に対応するために設けた屋内テラス。左の扉は各宿泊室に通じている。



汚物処理室

利用者と介護スタッフの動線に配慮して、汚物処理室は、浴室に近接して設置。汚物流しは、配管などをライニング内に収めてスッキリした、コンパクトなパブリック用流しを採用している。

水まわりの特長

改修の経緯

2019(令和元)年5月に杉並区に開設した、社会福祉法人サンフレンズが運営する、「おあしす上井草小規模多機能ホーム」。特別養護老人ホーム「上井草園」に併設しデイサービス事業を行ってきた「上井草ふれあいの家」が大規模な改修を行い、宿泊室と専用の浴室を新設。6つの宿泊室と通いのスペースにより、「通い」「訪問」「宿泊」の3つのサービスを提供する、小規模多機能ホームに生まれ変わった。住み慣れた地域、住み慣れた家での暮らしを続けるサポートを行っている。増設されたトイレも、タイル貼りの湿式清掃から乾式清掃に変更され、清掃しやすく、清潔な空間へ。さらに、入口近くに手洗器を設置したり、水栓金具を自動水栓にすることで衛生面にも配慮している。

水まわりの特長

すべての宿泊室から使いやすいよう、3部屋ごとの近い位置に共用トイレをレイアウト。利用者のさまざまな身体状況に対応できるように、左右勝手違いに配慮した設計としている。さらに、車いすでの利用において身体を回転させる角度が小さくて済むように、便器後方からのアプローチができる設計。便器への移乗や排泄姿勢の保持をサポートするスイングタイプの前方ボードや、トイレ用手すり(はね上げタイプ)を設置し、さまざまな体格の人でも使いやすく配慮されている。いちばん広いトイレには、コンパクトオストメイトバックや異物が詰まっても早期復旧ができる掃除口付の大便器、瞬間式のウォシュレット アプリコットPを設置。利用者と介助者、双方の使い勝手に配慮した水まわりとなっている。

建築概要

名称	おあしす上井草小規模多機能ホーム
所在地	東京都杉並区上井草3-33-10
施主	社会福祉法人サンフレンズ
設計	ケアスタディ株式会社
施工	建築・設備 日本建設株式会社
竣工年月	(改修)2019年4月
敷地面積	3,943.46㎡
建築面積	1,959.36㎡
延床面積	3,934.23㎡
構造・階数	鉄筋コンクリート造・地下1階、地上2階

おもなTOTO使用機器

パブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式:CFS49*BYC系
ウォシュレット アプリコットP (温風乾燥付きエコリモン):TCF5840AUP系
紙巻器:YH501FM系／自動洗浄小便器:UFS900JCS
コンパクトオストメイトバック:UAS81RDB1NW
パブリック用手すり:T112CP6、T112CP27
トイレ用手すり(はね上げタイプ):EWC7*4系
前方ボード(スイングタイプ):EWC5740／パブリック用流し:UAS23B